

4名のエリアコーディネーターが、皆さまのご相談に対応します。

栃木県事業承継・引継ぎ支援センターでは、事業承継をスムーズに進めるため、さまざまな支援活動を行っています。今回は、エリアコーディネーターの役割と活動事例をご紹介します。

1 エリアコーディネーターの役割

エリアコーディネーターは、経営者の皆さまに、早期・計画的な事業承継の準備に対する「気づき」を促し、事業承継を円滑に進めていただけるよう、商工団体や金融機関等の支援機関と連携し、事業承継診断を通してさまざまな悩みや課題、支援ニーズの掘り起こしを行っています。掘り起こしの結果によっては、専門家派遣や事業承継計画策定の支援を行っています。

また、エリアコーディネーターは、主に親族内承継を担当しておりますが、面談の中でM&A（譲渡・譲受）を含めた第三者承継を行

う場合や、後継者が借入の保証をためらっていたり、後継者に借入金の保証をさせたくないなど、経営者保証解除のニーズがあった場合には、それぞれの担当者にトスアップし、スムーズな事業承継に繋がるよう、にきめ細かなサポートを行っています。

栃木県事業承継・引継ぎ支援センターには、4名のエリアコーディネーターが在籍しており、栃木県内を3エリアに分割しエリア内にある商工団体や金融機関等の要請により日々対応しています。

2 具体的な活動事例

今回は、宇都宮商工会議所と連携した活動状況をご紹介します。

昨年度から、宇都宮商工会議所職員と当センターのエリアコーディネーターがペアとなり、会員事業者への巡回訪問を行っています。事業の現況確認や商工会議所の各種支援の案内と併せて、栃木県事業承継・引継ぎ支援センターを知っていただくために当センターの業務内容の案内を行うとともに、事業承継診断シートを用い、事業承継対

する悩み、課題、支援ニーズの掘り起こしを行っています。

また、巡回訪問以外にも当センター内において、定期的に「事業承継相談会」（予約制）を実施しています。

今年度は、8月に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発出されたため、解除後の10月から活動を開始しておりますが、昨年度は8月から11月までの4カ月間実施し、451社の経営者の方々と面談し、そのうち188社に事業承継診断を行いました。

3 最後に

事業承継は、企業にとって必ず訪れる経営課題であり、準備を早める着手し、計画的に進めることが重要ですが、他の経営課題より後回しにされがちです。事業承継への取り組みは以前よりも進みつつある一方で、後継者の不在率は依然として高い水準にあり、今後も経営者の高齢化が加速すると考えられています。県内企業の99%以上を占める



栃木県事業承継・引継ぎ支援センター
エリアコーディネーター
高山 己由



バックナンバーはこちら

中小企業は、栃木県の経済・雇用を支える存在として重要な役割を果たしています。そのためにも、エリアコーディネーターは、経営者の皆さまに事業承継の「気づき」の提供を行い、事業承継が円滑に進むようさらなる支援を行っていきたくと思います。

栃木県事業承継・引継ぎ支援センターは、次世代への事業引継ぎに関する様々な課題解決を支援する公的相談窓口です。相談は無料で各相談員が秘密厳守にてご対応させていただきます。ぜひ、お気軽にご相談ください。



巡回訪問した鶴河屋酒店との面談風景



商工会議所職員との事業承継勉強会